

偽装請負で仕業検査体制の変更か?!

7月1日からの仕業検査の体制変更（SEKへの外注化拡大）により職場は、大混乱しています。1ヶ月が過ぎようとしていますが未だに管理者によって作業内容の説明、作業指示が違っていたり、JRとSEKの作業区分もはっきりしない作業が多くあります。そんな中、会社は8月3日から「仕業検査体制における伝達・連絡ルートの変更」を決め、社員への説明会を行っています。体制変更から一ヶ月、職場の混乱が続いています。

今回の外注化施策は、今までSEK社員が行っていたスリ板の取り替え作業や車内の蛍光灯取り替え等の修繕作業に加えJRが行っていた車内の検査業務をSEKに委託するということで外注範囲を拡大するというものでした。当然、SEKへの委託業務なのでSEKによる責任施行（丸投げ）のはずでした。

しかし、現実には、SEKによる責任施工で無く、スリ板交換でも車内検査でも作業発生毎にJR社員が指示を出してから、SEK社員が作業を行うというものでした。SEKによる委託＝責任施行（丸投げ）＝独立・自主判断業務でなく、JRが直接指示・命令を出して、同じグループ作業として行う＝SEK社員を派遣社員としてJRが都合のいいように、作業しやすい様に扱っていたということです。委託を装った派遣作業が自由に拡大できないように派遣の場合は年数制限があります。それを免れていたということです。これが今回の外注化の拡大ではっきりしたことです。当然、業務委託を装った派遣ということで労働局が調査にはいりました。その結果、会社は急遽仕業検査体制の一部を変更しました。

会社は、労働局が調査に入ったことについて認めていますが、偽装請負については「請負のあり方を説明、より良い検査体制にするため」と誤魔化しています。スリ板交換の外注化は2003年から実施してきましたが、その時にも問題になりました。しかし、会社は強行実施し12年間、偽装請負が続いていました。そして今回の偽装請負の拡大と、わからなかったらなんでも実施します。会社は、今回の外注化の拡大で直営社員を7名減らして人件費をうかせました。リニア建設にむけて突っ走っています。職場からしっかりと声をあげていきましょう!!

外注化の拡大で職場が混乱しています! 直営に戻すべきです!